

当社の健康経営について

基本方針

健康経営の推進目的

・従業員の安全と健康を守るために、健康経営に取り組みます。

企業理念を実現し、ものづくりを通じて社会に貢献していくためには、従業員一人ひとりの安全と健康が欠かせません。そのため、健康経営を経営戦略の基盤と位置づけ、「ものづくりは人づくり」という考えのもと、従業員が心身ともに健やかに働ける環境づくりに取り組みます。

従業員が日々の仕事でいきいきと能力を発揮し、自主自律の精神や新たなことに挑戦する意欲を育むためには、健康で安心して働けることが重要です。

また、従業員が安心して仕事に向き合うためには、その家族の健康と幸せも大切な要素となります。

（企業理念）

Purpose : 「地球にやさしい」をものさしに、豊かな未来を創り続ける

Mission : 誰かの手に渡るすべてを価値あるものに

自らを鍛え、高い技術とマインドを

社会の期待を常に超えるものづくりを

Vision : 循環型の価値で世界を満たす

健康宣言

- ・「ものづくりは人づくり」の考えのもと、従業員と家族の健康を支え、全社一丸でいきいきと働ける職場をつくります。

代表取締役社長 CEO 鈴木 達也



健康経営の推進方針

- ・従業員の安全と健康を第一優先に継続的な支援と改善に取り組みます。

従業員一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるプログラムを設定・推進してまいります。

その取り組みの進捗状況を定期的に把握し、PDCAサイクルに基づく活動を通じて、健康経営の実効性向上と継続的な改善を図ります。

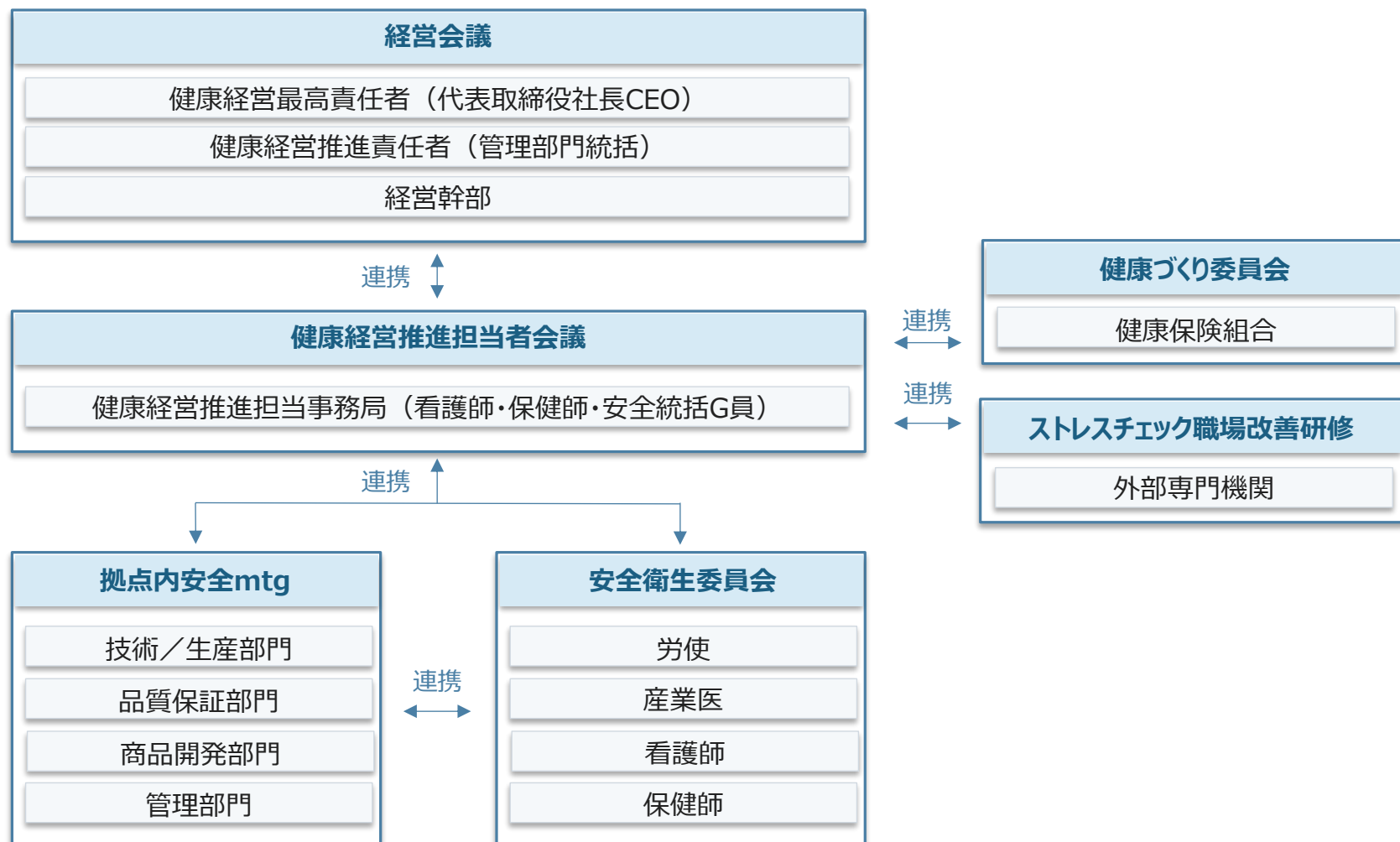
健康経営の目標

- ・ウェルネス3K「きれい・快適・健康的」な職場づくりを目指します。

従業員が心身ともに健やかで、活力と誇りを持っていきいきと働くことのできる職場づくりを目指します。

健康経営推進体制

代表取締役社長CEOを健康経営最高責任者とし、全社横断的な推進体制のもとで健康経営を推進しています。産業医・看護師・保健師や健康保険組合とも連携し、従業員一人ひとりの健康づくりに取り組んでいます。

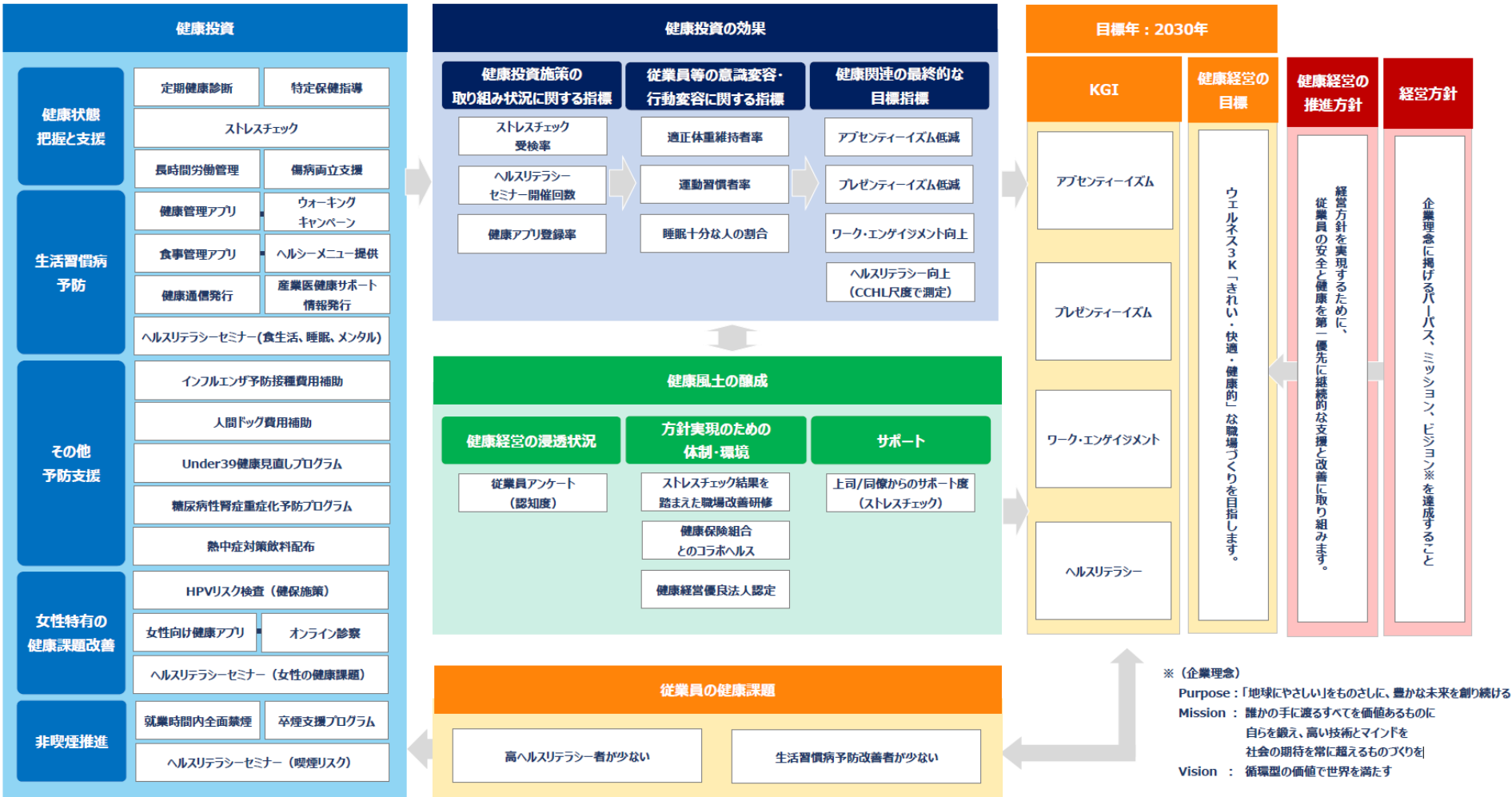


役割等	役職等	主な役割・責務
健康経営 最高責任者	代表取締役社長CEO	健康経営の推進方針・目標・推進計画の最終意思決定および社内外への発信
健康経営 推進責任者	管理部門統括	健康経営最高責任者と連携し、全社横断的な健康経営活動の統括・推進
健康経営推進 担当事務局	看護師 保健師 安全統括G員	健康施策の企画・立案・実行・効果検証、従業員への健康情報発信 各拠点の推進施策の実践推進および実施状況の把握・報告
産業保健スタッフ	産業医 看護師 保健師	産業医は全事業場の従業員の健康管理を管轄し、健康課題について推進担当者と協議・専門 的見地からの助言を実施。看護師・保健師は施策の企画・効果検証に参画し、健康相談に対応
外部専門機関	外部専門機関	メンタルヘルス対策（ストレスチェック・職場改善研修）を連携して実施

会議体	主な関係者	主な審議・協議内容
経営会議	代表取締役社長CEO 管理部門統括 経営幹部	方針・目標・計画・達成状況等の報告
健康経営推進 担当者会議	健康経営推進 担当事務局	全社および各拠点における健康施策の企画・立案・実行・効果検証、各種施策の進捗状況の共有・意見交換
拠点内安全mtg	技術／生産部門 品質保証部門 商品開発部門 管理部門	健康経営活動の報告および健康課題に関する各部門との情報共有・協議
安全衛生委員会	労使 産業医 看護師 保健師	健康経営活動の報告および健康課題に関する労使での情報共有・協議
健康づくり委員会	健康保険組合	従業員の健診データの提供・健康課題の認識共有・コラボヘルスの推進・健康保険組合主催の 健康づくり委員会への参加を通じた健康増進施策の情報共有
ストレスチェック 職場改善研修	外部専門機関	ストレスチェック結果を踏まえた職場環境改善の推進

健康経営戦略マップ

本マップは、健康経営施策がどのようなプロセスでKGI達成につながるかを可視化したものです。基本方針をもとに、従業員等の健康状況の把握から施策の立案・実行・評価および改善を戦略的に推進してまいります。



健康目標

健康関連の最終的な目標指標

健康経営の取り組みが、従業員の健康や働き方にどのような成果をもたらしているかを評価する指標として、今後は以下の4項目で測定します。

項目	測定方法
アブセンTEEイズム低減	従業員1人当たりの傷病による欠勤・休職日数
プレゼンTEEイズム低減（パフォーマンス発揮度）	SPQ（東大1項目版）を用いて実施予定
ワーク・エンゲイジメント向上	委託先独自の指標
ヘルスリテラシー向上（CCHL尺度で測定）	CCHL尺度を用いて実施予定

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

健康経営の取り組みが従業員等の意識や日常の行動にどのような変化をもたらしているかを評価する指標として、以下の3項目で測定しています。

項目	実績	目標
	2025	2030
適性体重維持者率 ※BMIが18.5以上25未満	62.1%	65.5%
運動習慣者率 ※1週間に2回、1回当たり30分以上の運動習慣がある	29.4%	34.6%
睡眠十分な人の割合 ※睡眠で休養が十分にとれている	57.0%	73.0%

健康投資施策の取り組み状況に関する指標

健康経営の各施策が着実に推進されているかを評価する指標として、以下の3項目で測定しています。

項目	実績	目標
	2025	2030
ストレスチェック受検率	92.0%	96.0%
ヘルスリテラシーセミナー開催回数	3回/年	3回/年
健康アプリ登録率	24.5%	55.5%

健康風土の醸成

健康を大切にする意識や行動が職場の文化として根付いているかを評価する指標として、今後は以下の2項目で測定します。

項目	実績	目標
	2025	2030
健康経営の浸透度（認知度） ※2026年度より実施予定	-	80%
上司・同僚からのサポート度	偏差値：49.0	偏差値：51.5

健康状態の管理指標

健康診断の結果に基づき、従業員の健康状態を経年で把握するための指標として、以下の6項目で測定しています。

項目	実績	目標
	2025	2030
肥満者率 ※BMIが25以上	33.0%	32.0%
血圧リスク者率 ※収縮期血圧180mmHg以上または拡張期血圧110mmHg以上	1.0%	0.9%
血糖値リスク者率 ※HbA1cが基準値6.0%以上6.5未満	3.6%	3.5%
糖尿病管理不良者率 ※HbA1cが8.0%以上	0.7%	0.6%
特定保健指導実施率	58.6%	59.6%
高ストレス者率	24.1%	19.1%

健康施策の主な取り組み

ヘルスリテラシーの向上

健康を「知る」ことが、未来の自分を「守る」ことにつながる。

当社は、ヘルスリテラシーの向上を通じて、従業員一人ひとりが自らの健康をより深く理解し、前向きに行動できる職場づくりを進めています。

- ・従業員の健康保持・増進を目的として、会社独自の健康診断の実施（法定健康診断に加え、独自の健診項目を追加）
- ・従業員一人ひとりの健康維持・疾病予防をサポートするため、人間ドック受診に対する費用補助制度を設定（35歳から5年毎）
- ・定期的なヘルスリテラシーセミナー開催（食生活、睡眠、喫煙、メンタルヘルス分野など）
- ・産業医や保健医療スタッフによる健康コラムを配信
- ・健康保険組合と連携し、特定保健指導の実施

生活習慣病予防の取り組み

・従業員一人ひとりが日常の中で習慣的に生活習慣病予防を実践できるよう、食事、睡眠、運動の3つのテーマに重点を置いた社内スローガン「健康づくり3アクション」を掲げました。今後は自社で作成した啓発資料を活用し、従業員への浸透を図ってまいります。

【啓発資料】



- ・健康保険組合と連携し、糖尿病合併症の早期発見プログラムや39歳以下の若年齢層の生活習慣病予防に向けた保健指導を実施しています。
- ・健康保険組合主催のさまざまなイベントへ参加し、従業員の生活習慣病予防を支援（目標を達成した参加者には健保からの特典に加え、イベントによって会社独自のインセンティブとしてPepポイントを付与）
- ・工場地区の食堂において、ヘルシーメニュー（健康志向の食事）を提供しています。

その他の取り組み

◆働きがいとワークライフバランスの向上

当社では、従業員一人ひとりが心身ともに健やかに働ける環境づくりを大切にし、さまざまな取り組みを行っています。

- ・年1回のストレスチェックを通して、ストレスチェックの集団分析結果を活用し、メンタルヘルスの早期把握とケアに取り組んでいます。また、フィードバック研修を開催し、職場改善活動に取り組んでいます。
- ・上司発の「面談」ではなく、部下主体の「対話」のための1on1ミーティングを実施
- ・毎週金曜日を定時退社日と設定（事務技術職対象）
- ・フレックスタイム制度の設定（事務技術職対象）

◆女性活躍に向けた施策

当社は、すべての従業員がその個性や能力を存分に発揮できる職場づくりを目指しています。中でも、女性の多様なライフステージに寄り添い、キャリア形成や仕事との両立を支援するため、さまざまな環境整備を進めています。

- ・女性向け相談窓口の設置
- ・生理用品を社内へ設置
- ・女性特有の体調不良時特別休暇取得の促進
- ・妊産婦向け指定駐車場の確保
- ・女性の健康課題をテーマにした健康セミナーの配信

◆感染症対策

当社では、従業員の安全と健康を守り、安定した事業継続を実現するため、以下の感染症対策を実施しています。

- ・インフルエンザ予防接種費の会社補助実施、社内接種の実施
- ・社内マニュアルの策定・運用
- ・アルコール消毒液の常設
- ・在宅勤務制度の活用

◆受動喫煙防止活動

当社では「健康経営」の一環として、受動喫煙防止に取り組んでいます。

従業員一人ひとりの健康を守り、誰もが安心して過ごせる職場環境の実現を目指しています。

- ・各地区の喫煙所を削減（受動喫煙防止の観点等に基づく喫煙所の再配置）
- ・就業時間内全面禁煙
- ・健康保険組合と協力して卒煙施策のキャンペーンを実施し、禁煙達成者には Pepポイント付与
- ・喫煙と健康被害に関する健康セミナーの動画配信

◇地域・社会への貢献

◆献血活動

日本赤十字社の協力のもと定期的に社内で献血活動を実施しています。

多くの従業員が自主的に参加し、医療を必要とする方々への支援につなげています。

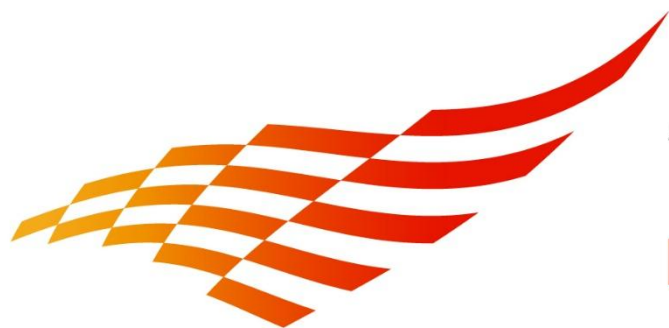
◆救命救急講習の実施

緊急時に迅速かつ的確な対応ができるよう、社内で救命救急講習を実施しています。

一次救命処置の研修やAEDの操作訓練を通じて、職場内外での安心・安全の確保に努めています。

認定実績

当社は、経済産業省が推進する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。今後も従業員の健康を守る取り組みを継続してまいります。



2026
健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

大規模法人部門